

# 南ユタ大学短期プログラム報告書

岩見沢校 芸術課程・メディアデザイン専攻 3年 中村未来

## ●講義について

講義は10時から14時半で、お昼休憩が1時間あったので実質的な講義時間は3時間半です。

大学の講義は基本的にプログラムに参加している北海道教育大学の生徒のみのクラスで行われ、数回、教育学科のクラスやESL(English second language)クラスなどに参加させてもらうという形でした。

講義ではアメリカ文化の紹介、メールの書き方やシラバスの見方・インターネットでの文献の探し方などのアカデミックスキル、教育学科の生徒との合同クラスでプレゼンテーション、ESLクラスでの講義形式のプレゼンテーション、英語でのエッセイ執筆などを学んだり、行ったりしました。

週ごとの講義予定を貰っていたのですが、そのスケジュール通りに講義が行われることはほとんどありませんでした・・・。イレギュラーな事も多く、戸惑いもあるかもしれませんが先生の話をしっかり聞いて目の前の課題に一つずつ取り組んでいくしかありません。

プレゼンテーションが多く、満足に使いこなせない英語で人の前に出て話すのは大変でしたがとてもいい経験になりました。意見交換の機会も多いので、何に対してもしっかり自分なりの意見を持って積極的に話すことはもちろん、日本での教育や社会問題などの現状を知っておくことも大切だと思います。

課題の中でも英語でのエッセイ執筆はかなり難しい課題でしたが、英語での文献の引用方法や文章の組み立て方を学んだり、自分で書いた文章を先生やホストファミリーなど多くの人に協力をしてもらって何度も推敲してもらって、より自然な言い回しにしていく過程はとても勉強になりました。

毎週土曜日に行うアクティビティーでは自然公園でのハイキング、ソルトレイクシティでのショッピング、キャンプに行き、ユタ州の自然などを楽しむいい機会となりました。

## ●生活について

### 気候

滞在したシーダーシティーは寒暖差が大きく、昼は汗ばむほどの熱さですが朝や夜は何か羽織らないと肌寒く感じました。温度調節がしやすい服装を心がけて荷造りすべきだと思います。またとても日差しが強く、空気もかなり乾燥しているので日焼け止めや保湿クリームを持って行くといいと思います。

### シーダーシティー

もちろんスリや事件に巻き込まれたりしないように最低限の注意は必要ですが、治安がとってもよくてリュックでも普通に散歩できます。街は穏やかで住人のみなさんも気さくな方ばかりです。大きい都市ではありませんが、たくさんのレストランや色んなショップがあります。

また新聞でシーダーシティー近辺の毎日のイベントが確認出来ます。それを見て行ってみたいものがあればホストファミリーに相談すると参加出来るよう協力してもらえるとと思いますので、ぜひ色んな場所やイベントに遊びに行ってみてください！

### 大学での生活

広い芝生やたくさんの棟に学習スペースが充実した図書館や美術ギャラリー、演劇や音楽のホールなどもあり、とても快適で居心地のいいところでした。

熱狂的な応援に包まれるスポーツの試合や、交流パーティーなど様々な楽しいイベントがあります。

大学構内ではWi-fiが普通に使えるのでスマートフォンの方はわざわざ海外仕様の契約などをしなくても問題なく使えるかと思います。

### ホームステイ

ホストファミリーとの会話の時間はとてもいいスピーキングの練習になると思います。また、日本と比べて家族と過ごす時間にとても重きを置いていたり、各家族で色んな決められたイベント(日曜日は教会に行く、毎週映画を見る日を決めているなど)があったり、子供達と遊ぶと日本では見た事がない遊びやボードゲームが出て来たり、と小さな事から大きな事まで色んな発見があつてとても面白いです。是非家族との時間も大切にしてください。

### 食生活

私の場合、食事は基本的にホストファミリー宅の食材を自由に使って朝ご飯とお昼ご飯は自分で用意し、夜ご飯はホストマザーが作ってくれた手料理を食べるという生活を送っていました。

お昼は簡単なサンドイッチを作ってフルーツと持って行く事が多かったです。作ると

節約になりますし、そこまで手間にならないのでおすすめです。大学にも購買や食べ放題のビュッフェ、ハンバーガーや寿司などのテイクアウトショップがあるので買って食べる事も出来ます。

夜ご飯はメキシコ料理やハンバーガーやピザやパスタ、白いお米とおかずなど色んなスタイルのものを用意してくれました。日本に比べて野菜があまり出てこなかったのも、サラダなどが好きで食べたい方は最初の方に家族にその旨を伝えるといいかもしれません。程度はあると思いますが、どうしても食べられないものやこんなものが食べたいという要望があれば食事中や買い物の際に伝えてみることは大事だと思います。

人によってはアメリカの食事に体が耐えきれなかった方もいたので、胃薬や整腸剤を持って行くのがいいかもしれません。(ちなみに私は全然問題ありませんでした)

### 持って行ってよかったもの

ノートパソコンは本当に持って行ってよかったと一番感じる物です。Power point や Word を使ったり、インターネットで文献を調べたりと色々使う場面が出てくるのですが、自分のパソコンが無い人は図書館のパソコンでやるしか無く、家でデータの手直しが出来ない・時間がかかり限られるなどかなり大変そうな印象を受けました。また、日本で撮った写真などを見せて一緒に会話したりするにもとても便利でした。

私は今回の留学でアメリカの食文化を体験したいという目的が大きかったので、その旨をホストファミリーに伝えると食事の時に食材や調味料の説明をしてくれたり、一緒に料理をさせてくれたり、スーパーで珍しい食材があったら買って食べさせてくれたりなど色々な経験をさせてもらいました。

アメリカでこんな事をしたいという明確な目的があれば周りの人に伝えておくと色々な協力が得られると思います。

正直私はそこまで英語が得意では無かったので生活全体でかなり苦労しましたが、家族にも先生にも伝えたい意見や考えは諦めずに伝え、分からないことはどんなに小さなことでもとことん納得するまで聞くのを心がけました。上手く話せなくても辞書を使ったり、ボディーランゲージや図解を使うと理解してくれることも多かったです。分かったフリをしたり、ずっと黙っていたりすると絶対に後悔する事になります。

言語の違いからすれ違いも生まれやすいものです。毎日の予定や家でのルールなど確

認したいことは何度でもしっかり伝えたり聞いたりすることが大切だと思います。

今回の留学でちゃんとした英語を話せないからと恥ずかしがって黙ってしまうくらいなら、自分なりの考えや意見をちゃんと持ってそれを伝えようと何度も挑戦することが大切な事だと感じました。私みたいに英語力に自信が無い参加希望者の方がいるかもしれませんが、失敗を恐れず自分の言葉を積極的に伝えましょう。そうすれば、いつの間にか少しずつ成長していきますよ！



Prowan Gap



シーダーシティーの道



ある日の夕食 オレンジチキン



南ユタ大学構内



ロデオ



アメリカンフットボールのホームゲーム